

向東だより

京都市立向島東中学校
令和5年11月



平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
さて、先日保護者の皆様にご協力をお願いしておりました『学校評価アンケート』にご回答いただき、本当にありがとうございました。

【学習面】

令和3年度から取り組んでいる授業改革について、本校が目指す授業モデルに向けて、学校全体として意識して取り組むことができました。各教科の授業において、単元の中で、グループ学習による課題解決型の授業を適切に設定することで、「主体的・対話的で深い学び」の充実を目指してまいりました。日頃の授業の様子においても、生徒が主体的に学び合い、学びに夢中になる姿が多く見られるようになりました。これは、学校評価アンケートの、授業の満足感や達成感に関する指標において、生徒・教員の両方において70%を超える評価からもその成果が伺えます。

昨年同時期に実施させていただいたものと比較すると肯定評価が向上した項目は、

「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていますか。
昨年度75.4⇒今年度83.7」などでした。



【生活面】

23時以降に就寝する生徒の割合は52.7%（学年が上がるにつれて高い割合）で、そのうち24時を過ぎてから就寝する生徒が約半数である。また1日のスマホの使用時間が2時間以上と回答した生徒は76%と非常に高い割合となっています。深夜になってもSNSやゲームなどで多くの時間を費やし、不規則な生活になってしまわないように気を付けたいものです。中学時代は体の成長が著しく、健康で暮らしていくには十分な睡眠と規則正しい生活が不可欠です。早寝早起き・朝ごはんを意識しましょう。

【豊かな心の育成】

各教科や道徳、特別活動の中で生徒が主体的・対話的に関わり、学ぶ場面を設定し取組を継続することで、さまざまな人を思いやり親切にしているという生徒の認識につながったと考えています（82.9%）。また、向東祭の中での縦割り活動を通じて他学年の生徒と関わりを持ち、経験や感動を共有できたことが多面的な学びにつながり、学校を誇りに思う気持ちにつながりました（76.7%）。

生徒自身が自覚を持ち、様々な考えに触れ、経験と想像力を養い、場に応じた言動ができるように継続して指導していきたいと思っております。



今回保護者の皆様より回答いただきました結果（自由記述欄に記載いただいたものを含む）に加え、生徒対象・教職員対象のアンケート結果を教職員一同で共有し、今後の取組を見直すとともに後期に向けて、よりよい教育活動の進め方を探っていきたいと考えています。